

(7) 平成27年度 すずき野小学校「豊かな心の育成」推進プラン

相手のことを考え、行動できる子どもを育成するために、たてわり学年活動・集会活動など、異学年の交流を推進していきます。

児童の実態

本校児童は、素直に夢中になって遊んだり、目標に向かって一生懸命取り組んだりする力がある。経験を通して学んだことを力として発揮する時や継続してつけた力を発揮する時の笑顔が素晴らしい。反面、家庭や学校での約束を自ら守って生活していくことができずにトラブルを起こしたり、挨拶を自分からするのが苦手だったりする。ルールや善悪は知っていても実践する力が弱い面がある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・ 道徳教育の充実、地域と協力した挨拶運動の推進、学校の環境美化推進を図る。
- ・ 『なかよし班活動』のたてわり異学年活動を通して、コミュニケーション能力・思いやりの心・主体性を養い、実践していく態度を育てる。
- ・ 『健康タイム』（なわとびタイム・すずき野体操・G0タイム・歯みがきタイム）の活動を通して心身ともに健康でチャレンジする楽しさがわかる心を育てる。
- ・ 読書タイム・読み聞かせタイム・音楽集会を通して、感性豊かな心情や態度を育てる。

指針3 「確かな人権感覚・意識の育成」

☆子どもの社会的スキルの育成を計画的にすすめ、安全で安心な学級・学校風土の醸成をしていける人権意識を身に付けられるようにします。（視点7）

○子どもの社会的スキル横浜プログラムの実施

- ・ 子どもの社会的スキル横浜プログラムを人権教育の年間指導計画の中に位置づけて実施するなど、意図的計画的に子どもの社会的スキルの育成を図る。

○人権週間の取り組み(12月)

- ・ ねらいに沿った道徳の授業や横浜プログラムの実施を行い、人権感覚を高められるようにする。ふりかえりを「人権新聞」にまとめ、家庭配布し、家庭との人権意識についての共通理解を図る。

○『なかよし班活動』によるたてわり異学年交流の実施

- ・ なかよし給食・なかよし班活動による全校遠足・なかよし遊び週間を通して、年長者としての思いやり・我慢・気配り等を体験し、年少者としての感謝・協力・憧れ等を味わう。継続的に行うことで、相手のことを考えて行動できる子の育成を図る。

○人権研修会、Y-P アセスメント支援検討会の実施による教師の人権感覚・意識の育成

- ・ 人権研修は、計画的な研修会以外にも特別支援教育の研修との連携を図ったり、外国籍児童・保護者への具体的配慮の周知を行ったり、専任による毎月の課題報告の中での配慮事項の徹底で職員の共通理解を図ったりして、職員の人権意識を高められるようにする。
- ・ Y-P アセスメント支援検討会により、学級集団のとらえ方を話し合っって集団を見る目を養ったり、子どもの課題の改善に向けて校内体制を整えたりする場とする。